

みずほCustomer Desk Report 2023/12/15 号 (As of 2023/12/14)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	142.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	142.80	1.0884	155.38	1.2633	0.6666
SYD-NY High	142.92	1.1009	156.03	1.2793	0.6728
SYD-NY Low	140.95	1.0874	153.85	1.2614	0.6657
NY 5:00 PM	141.85	1.0992	156.04	1.2767	0.6698

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,248.35	158.11	日本2年債	0.0600%	0.0100%
NASDAQ	14,761.56	27.59	日本10年債	0.6700%	▲0.0100%
S&P	4,719.55	12.46	米国2年債	4.3851%	▲0.0457%
日経平均	32,686.25	▲240.10	米国5年債	3.9001%	▲0.0746%
TOPIX	2,321.35	▲33.57	米国10年債	3.9199%	▲0.1032%
シカゴ日経先物	32,675.00	▲235.00	独10年債	2.1250%	▲0.0415%
ロンドンFT	7,648.98	100.54	英10年債	3.7775%	▲0.0500%
DAX	16,752.23	▲13.82	豪10年債	4.1080%	▲0.1680%
ハンセン指数	16,402.19	173.44	USDJPY 1M Vol	11.60%	0.72%
上海総合	2,958.99	▲9.78	USDJPY 3M Vol	10.95%	0.68%
NY金	2,044.90	47.60	USDJPY 6M Vol	10.33%	0.46%
WTI	71.58	2.11	USDJPY 1M 25RR	▲1.91%	Yen Call Over
CRB指数	264.31	5.20	EURJPY 3M Vol	10.77%	0.54%
ドルインデックス	101.96	▲0.91	EURJPY 6M Vol	10.34%	0.42%

東京	東京時間のドル円は142.80レベルでオープン。前日のFOMCを受けた米金利低下を背景にドル円は軟調推移。正午過ぎには20年債入札が弱めの結果となったことで本邦金利が上昇して円買いが勢い付き、140.95まで下落した。一巡後は141円台後半まで持ち直し、141.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.77レベルでオープン。米FOMCからのドル売りが継続し、一時141.23円まで売られ結局141.66レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2642レベルでオープン。ドルが弱含む中堅調推移。英正午に英中銀が政策金利を予想通り据置と決定。票の割れ方がやや効派的と捉えられたこともありポンドは1.2724まで買われ1.2716レベルでNYに渡った。なお、スイス中銀は予想通り据置の一方で、ルウェー中銀は0.25%ポイントの利上げを行った。市場予想は据置だったこともあり通貨クローネは2%程度上昇した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台後半でスタート。前日の12月FOMCがハト派色の強い内容だったことが意識される中、米金利が一段と低下し、ドル円は140.95まで下げ幅拡大。売り一巡後、142.16まで反発する場面も見られたが、その後再び失速し、141.66レベルでNYオープン。朝方に発表された米11月小売り売上高(前月比)、コア小売り売上高は一部予想に反して共に予想を上回る結果となる。同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数も予想より良好な内容を受け、買いが優勢となり、142.27まで上昇。しかし、その後は米金利低下が上値を抑え、141.42まで反落する。午後は低下していた米金利が再度上昇する動きを横目に小幅反発し、142円台を付けるも、その後失速し、141.85レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。ECB会合の結果発表を控え、1.09台丁度付近を中心とした推移が続く。1.0924レベルでNYオープン。朝方にはECBが主要政策金利を4.50%に据え置く事を発表、同時に発表された声明文では24年度の予想インフレ率が下方修正された内容を受け、1.0907から1.0933間での小動き。その後行われたラガルト総裁の記者会見では、「利下げは全く議論しなかった」との発言が伝わると、ユーロ圏での利下げ開始時期は予想程早くないとの思惑から、ユーロが買い戻され、1.10台を回復し、1.1009まで上伸。午後は買い一巡となり、小幅反落し、1.0992レベルでクローズ。

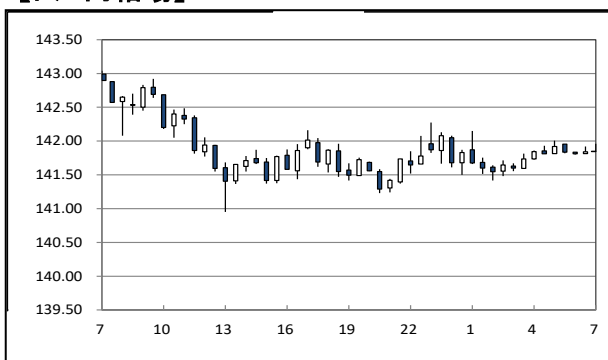
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月14日	09:30	豪雇用者数変化/失業率	11月 61.5k/3.9%	11.5k/3.8%
	13:30	日鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	10月 1.3%/1.1%	-
	22:15	欧ECB主要政策金利	14-Dec 4.5%	4.5%
	22:30	米小売り売上高(速報・前月比)	11月 0.3%	-0.1%
	22:30	米小売り売上高(速報・除く自動車/前月比)	11月 0.2%	-0.1%
	22:30	米新規失業保険申請件数	9-Dec 202k	220k

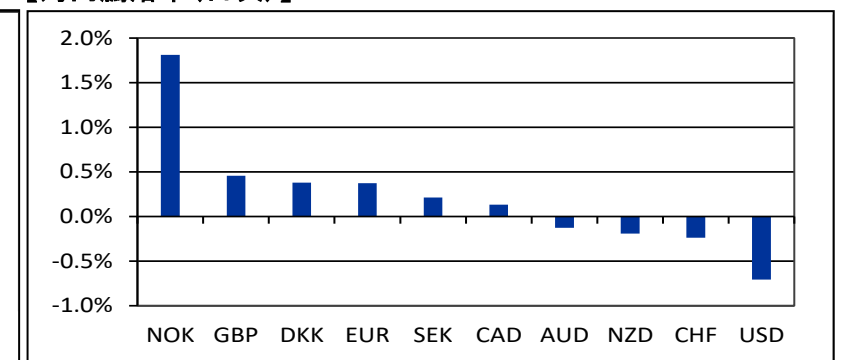
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
	16:45	仏CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.2%/3.4%	-0.2%/3.4%
	17:30	独製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	12月 43.2/49.8/48.2	42.6/49.6/47.8
	18:00	欧製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	12月 44.6/49.0/48.0	44.2/48.7/47.6
	18:30	英製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	12月 47.5/51.0/51.0	47.2/50.9/50.7
	22:30	米ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米NY連銀製造業景気指数	12月 2.1	9.1
	23:15	米鉱工業生産(前月比)	11月 0.3%	-0.6%
	23:45	米製造業/サービス業PMI・速報	12月 49.5/50.7	49.4/50.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.70	1.0900-1.0110	155.00-157.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はFOMC後の米金利低下とドル売りの流れを引き継ぎ、一時140円台後半まで下落。その後は米金利低下が一服したことを背景に、141円台後半を中心にレンジ推移した。

本日のドル円は上値重い展開を予想。昨日の市場予想よりも良好な米経済指標を受け、ドルの買い戻しの動きが見られるだろうが、FOMC後のパウエル議長の利下げを示唆する発言の影響はまだ続きそうで、上値を抑えるだろう。ただし、本日は米11月製造業PMIの発表が予定されており、市場予想よりも強い結果となれば、上値を追う可能性もあるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・岩下